

上川崎和紙は書家や画家など専門家たちの間ではもちろんのこと、最近
は包装紙やパッケージ、壁紙などにも使われている。また和紙を染め付け
て加工利用した民芸品や人形づくり、さらにバッグや財布といった小物や
装飾品、ランプシェードなどインテリアにまで広く利用されている。これは
和紙の持つ独特の肌合いと温もり、そして長年使うことで醸し出される
風合いが、多くの人に安らぎを与えているからかもしれない。
上川崎和紙で作られたあたたかい品々をご紹介します。



◎木幡の幡祭り

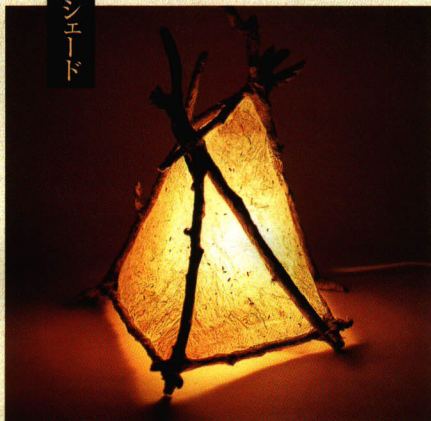
阿武隈川を挟んだ安達町の隣町、
東和町の伝統行事をモチーフに。
勇ましい掛け声が聞こえてくる
よう。

◎座布団



くるみ染め特有のシワの風合いが、紙
とは思えないほどの柔らかさを生み
出している。

◎ランプシェード



木の枝と上川崎和紙を使った照明器
具です。和紙から透けてくるやわら
かい光が心を溶かしてくれる。

◎昔の農家

家も人も、すべてが上川崎和紙でき
た手製の模型。ほのぼのとした農家の
ある日を再現。

